

事務事業名	筑穂庁舎改修事業										事務事業No.	221 - 47		
1. 基本情報														
担当部	担当課			担当係		作成者職名	作成者氏名		所属長職名	所属長氏名				
筑穂支所	筑穂支所 市民窓口課			市民窓口課		課長補佐	鏡 吉秀		課長	井上 尊之				
施策体系	総合計画	政 策	2	行政経営										
		施 策	2	公共施設等の最適化と有効利活用										
		基本事業	1	公共施設の総合的管理の推進										
	その他の計画	個別計画		なし										
根拠法令・条例・要綱等	飯塚市庁内管理規則													
事業開始年度	令和4年度			事業終了年度		継続		事務事業類型		施設維持管理事業				
実施手法	その他			補助金等の支給		なし		実施計画期間		-				
2. 事務事業の概要及び目的（決算成果説明書と連動）														
概要	筑穂庁舎は筑穂地区の行政サービスの拠点であり、支所機能のほか、筑穂ふれあい交流センターや筑穂子育て支援センターなどコミュニティ機能も果たしている。現状としては、雨の降り方により雨漏り等も確認される。また、庁舎1,2,3階の空調設備の不具合が生じるなど、施設の老朽化が進んでいるため、来庁者にとって常に安全・安心で利用しやすい施設として、効率的に機能させることが必要である。													
対象	働きかける相手・もの	筑穂支所庁舎												
手段	方法・働きかけ（活動指標）	庁舎施設設備を改修する												
意図	対象をどのようにしたいか（成果指標）	行政サービスの拠点となる筑穂支所庁舎として、来庁者にとって常に安全・安心で利用しやすい施設として効率的に機能させる。												
3. 活動指標（決算成果説明書と連動）														
指標名		単位	指標の説明（算式等）				前年度実績	本年度実績	次年度見込					
改修工事及び関連委託の件数		件	年間の改修工事及び関連委託の件数				3	1	3					
4. 成果指標（決算成果説明書と連動）														
指標	維持修繕・更新計画件数	単位	達成目標値				前年度実績	本年度実績	次年度見込					
		件	計画件数		目標値		3	1	3					
説明	維持修繕・更新計画に計上している計画のうち、工事を実施した件数	方向性	達成目標年度		実 績		3	1						
		維持	毎年度											
指標		単位	達成目標値				前年度実績	本年度実績	次年度見込					
					目標値									
説明		方向性	達成目標年度		実 績									
指標		単位	達成目標値				前年度実績	本年度実績	次年度見込					
					目標値									
説明		方向性	達成目標年度		実 績									
5. 事務事業実施にかかるコスト（決算成果説明書と連動）														
経費区分	一般会計 政策的経費					特別会計		-						
予算科目・事業	会計	1	一般会計			款	2	総務費	項	1	総務管理費	目	4	財産管理費
	大	12	筑穂庁舎改修事業費			中	1	筑穂庁舎改修事業費（政策） 他 - 事業						
投入人員 （当該事務事業に対して1年間に投入した人員）	(R2以降)		前年度実績（千円）		本年度実績（千円）		増減理由（10%以上の場合）			次年度予算（千円）				
	正職員		0.09	人	716	0.04	人	326	工事箇所が違うため（令和5年度、西北面の外壁改修工事・空調設備工事に伴う改修設計委託等。令和6年度、東面の外壁改修工事）			0.10	人	815
	任期付職員(保育士)		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
	任期付職員(子ども家庭支援員)		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
	任期付職員(CW・水質)		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
	再任用フル		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
	再任用短		0.00	人	0	0.04	人	144				0.60	人	2,148
	1級フル		0.00	人	0	0.00	人	0				0.00	人	0
1級パート		0.00	人	0	0.00	人	0	0.00				人	0	
2級パート		0.00	人	0	0.00	人	0	0.00	人	0				
人件費計（A）		716		470					2,963					
事業費	直接事業費（B）		23,413		9,969					121,000				
	総事業費（A+B）		24,129		10,439					123,963				
直接事業費のうち の主な歳出内訳		工事請負費		8,733		9,969					121,000			
		-		0		0					0			
財源内訳	使用料・手数料（受益者負担分）		0		0					0				
	国・県支出金		0		0					0				
	市債		0		0					0				
	一般財源		24,129		10,439					123,963				
その他（ ）														

6. 事務事業の事後評価★			
評価視点	評価	評価の理由、または認識している課題を記載	
妥当性 評価	高い	支所庁舎は行政事務の執行場所である公用施設とふれあい交流センター等の公共施設の複合施設であり、来庁する市民の利便性・安全性を確保するとともに施設維持を行政が行うことは妥当である。	
効率性 評価	高い	筑穂支所管内は過疎化が進行し、本庁からも遠方となる地域であるため、支所の存続は市民にとって不可欠である。このため、計画的に維持修繕を実施し施設の長寿命化を図る。	
有効性 評価	高い	筑穂支所管内は過疎化が進行し、本庁への公共交通手段が不足している中で、本庁への来庁が困難な方たちのために支所での行政サービス拠点施設として貢献している。	
7. 前年度評価時の計画と実績			
前年度評価★		前年度記載した改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★	
評価区分	成果の方向性	次年度以降に予算（コスト）を必要とせず、直ちに実施できる改善策	筑穂庁舎は建築後20年が経過しており、施設設備の老朽化が進んでいる。今後も引き続き施設設備の保守点検を行い、大規模な修繕が必要な個所を未然に防ぐ対策を講じていく。
一次評価	現状維持	次年度以降に予算（コスト）増を必要とし、中長期的に実施する改善策	
	コストの方向性		
	現状維持		維持修繕・更新計画及び実施3か年計画に基づいて、庁舎内の施設設備（空調設備、外壁及び屋根・ベランダ等）の改修を行う。
前年度改善策に対する実績 ★ ※上記の改善策に対して今年度を実施できたこと、などを記入			
維持修繕・更新計画、実施3か年で計画した外壁工事の改修工事を実施した。			
8. 今年度評価における成果と課題（決算成果説明書と連動）★			
【成果】	維持修繕・更新計画、実施3か年で計画した外壁工事（北面）の改修工事を実施した。		
【課題】	施設全体が老朽化しているため、改修工事を行わなければならない箇所について順番を付け、計画的に改修工事を実施していく必要がある。		
9. 今後の事業の方向性と改善策			
成果の方向性	現状維持	【理由】	今後も来庁する市民の利便性・安全性を確保するために施設の管理が変わることなく行う必要があるため。
コスト投入の方向性			
現状維持		【理由】	今後も安全かつ良好な施設環境を維持するために必要な改修を実施していくことが必要なため。
次年度以降の改善策（課題解決や改革・改善に向けて、予算を含めた具体的な方策）★			
コスト（人・予算等）を必要とせず、ただちに実施できる改善策		施設設備の保守点検を行い、大規模な修繕が必要な個所を未然に防ぐ対策を講じる。	
コスト（人・予算等）を必要とし、中長期的に実施する改善策		維持修繕・更新計画及び実施3か年計画に基づいて、庁舎内の施設設備の改修を行う。	
評価変更理由	成果の方向性	事務事業としては筑穂庁舎改修事業になりますが、現在の計画では庁舎は存続させていく方針となっていますので、交流センターや社会福祉協議会の施設の複合化を図るという観点で「統合」	
	統合		
	コスト投入の方向性		
	縮小	成果の方向性で施設の複合化を図る観点での「統合」評価ですので、全体的な管理経費を削減することで「縮小」	